
第7 着工届等に添付する図書等

1 着工届

(1) 届出日等

法第17条の14の規定に基づく消防用設備等の工事着手の届出（以下この項において「着工届」という）は、消防用設備等を新設、増設又は移設する場合にあつては、消防用設備等ごとに次の(2)に定める基準日の、変更する場合にあつては、変更工事を行おうとする日の、それぞれ10日前までに行うものとされていること。この場合、届出時に消防用設備等の詳細な計画が確定していない場合は、その時点における一応の添付図書を提出させ、計画が決定した段階で差し替え等を行うことは差し支えないものである。

(2) 基準日

ア 消火設備 各設備の配管（各種ヘッド、ノズル等を直接取り付ける配管を除く。）の接続工事又は加圧送水装置等の設置工事を行おうとする日

イ 警報設備 警報設備の受信機の設置工事を行おうとする日。ただし、受信機の設置工事を伴わない場合は、感知器又は検知器の設置を行おうとする日とする。

ウ 避難器具 避難器具の取付金具の設置に係る工事を行おうとする日

エ 必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等

(ア) パッケージ型消火設備 パッケージ型消火設備の格納箱の取り付け工事を行おうとする日

(イ) パッケージ型自動消火設備 パッケージ型自動消火設備の放出導管（放出口を直接取り付ける放出導管を除く。）の接続工事を行おうとする日

(3) 届出の単位

届出は、防火対象物又は製造所、貯蔵所若しくは取扱所（以下この項において「製造所等」という。）を設置する事業所ごとに行つて差し支えないものであること。

(4) 添付図書

ア 防火対象物又は製造所等の概要表は、別記様式第1による。

イ 案内図は、防火対象物又は製造所等の所在地附近の略図とする。この場合、敷地が大きい場合は、敷地内の建物の配置図を添付すること。

ウ 消防用設備等ごとの添付図書及び記載要領等については、別表による。ただし、工事の内容が部分的なものである場合は、その一部を省略して差し支えない。

(5) 留意事項

ア 着工届に添付する図書については、届出者に過度の負担となるような図書の添付を要求しないこと。

イ 消防同意の際に消防用設備等又は特殊消防用設備等の設計に関する図書が提出されているなど、すでに消防機関において保有している図書がそのまま活用できる場合にあつては、当該図書をもって、着工届の添付図書に代えることとして差し支えない。

ウ 製造所等に設置される消防用設備等に係る着工届については、製造所等の設置又は変更の許可申請において、すでに前(4)に掲げる添付図書と同一の図書が提出されている場合には、当該添付図書を着工届に添付しないこととして差し支えない。

エ 消防用設備等の着工届出制度は、実際に設置される消防用設備等を消防機関において正確に把握し、

設置に関する十分な指導を行うことにより、消防用設備等の適切な設置を図ることを目的とするものであることから、前ア及びイの運用に当たっては、実際に設置される消防用設備等の正確な把握にかけることのないよう、図書の内容等に留意すること。

2 設置届

法第17条の3の2の規定に基づく消防用設備等の設置の届出は、防火対象物の棟を原則とする。

なお、前1の着工届に添付された図書と同一である場合は、これを省略して差し支えない。

別表

	設備の種類	添付図書	記載要領等
消 火 設 備	屋内消火栓設備 スプリンクラー設備 水噴霧消火設備 泡消火設備 不活性ガス消火設備 ハロゲン化物消火設備 粉末消火設備 屋外消火栓設備	1 概要表	別記様式2、別記様式3又は別記様式4による。
		2 平面図	消火設備の設置に係る階の防火区画、各室ごとの用途等を明記したもの及び消火設備の機器等の配置、配管状況等を明記したもの
		3 断面図	消火設備の設置に係る階の断面を明記したもの
		4 配管系統図	消火設備の構成、配管の経路、口径等を系統的に明記したもの
		5 配線系統図及び展開図	配線の種類等、電源系統及び配線系統並びに作動順序を示す接続関係を明記したもの
		6 計算書	次に掲げる事項を明記したもの なお、算出に用いる各種係数の根拠を明記すること。 ア 所要の水量又は消火薬剤量等の算出方法 イ 加圧送水装置、加圧ガス容器等の容量の算出方法 ウ 配管、継手、弁類等の摩擦損失の計算を含む所要揚程等の算出方法 エ 電動機等の所要容量の算出方法 オ 非常電源の容量の算出方法
		7 使用機器図	加圧送水装置、ノズル、弁、警報装置等に使用されている機器（検定品を除く。）及び非常電源に係る機器の詳細を明記したもの
警 報 設 備	自動火災報知設備 ガス漏れ火災警報器 消防機関へ通報する火災報知設備	1 概要表	別記様式5、別記様式6又は別記様式7による。
		2 平面図	警報設備の設置に係る階の防火区画、各室ごとの用途等を明記したもの及び警報設備の機器等の配置、配線状況等を明記したもの
		3 断面図	警報設備の設置に係る階の断面を明記したもの
		4 配線図	電線管の口径、配線本数、電線路の立ち上がり、警戒区域等を明記したもの
避 難 設 備	金属製避難はしご(固定式のものに限る。) 救助袋 緩降機	1 概要表	別記様式8による。
		2 附近見取図	避難器具を設置する場所付近に避難器具の使用又は設置に障害となるおそれがあるかどうか判断できるもの
		3 平面図	避難器具の設置に係る階の防火区画、階段及び各室ごとの用途等を明記したもの
		4 立面図	避難器具の設置に係る部分の立面を明記したもの
		5 避難器具の設計図等	避難器具を取り付ける開口部の詳細、避難器具の取付金具及び取り付ける部分の詳細を明記したもの
		6 計算書	避難器具の取付金具及び取り付ける部分の強度の算出方法を明記したもの

総合操作盤		7 概要表	総合操作盤を設置する場合は、別記様式 9 による。
必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等	パッケージ型消火設備	1 概要表	別記様式 10 による。
		2 平面図	パッケージ型消火設備の設置に係る階の防火区画、各室ごとの用途等を明記したもの及びパッケージ型消火設備の機器等の配置状況等を明記したもの
		3 断面図	パッケージ型消火設備の設置に係る階の断面を明記したもの
		4 配線系統図及び展開図	配線の種類等及び電源系統の接続関係を明記したもの
		5 使用機器図	ノズル、弁等を使用されている機器の詳細を明記したもの
	パッケージ型自動消火設備	1 概要表	別記様式 11 による。
		2 平面図	パッケージ型自動消火設備の設置に係る階の防火区画、各室ごとの用途等を明記したもの及びパッケージ型自動消火設備の機器等の配置、放出導管、同時放射区域の状況等を明記したもの
		3 断面図	パッケージ型自動消火設備の設置に係る階の断面を明記したもの
		4 放出導管系統図	パッケージ型自動消火設備の構成、放出導管の経路、口径等を系統的に明記したもの
		5 配線系統図	パッケージ型自動消火設備の構成、配管の経路、口径等を系統的に明記したもの
		6 使用機器図	感知部、放出口等を使用されている機器及び非常電源に係る機器の詳細を明記したもの

別記様式 1

防火対象物
製造所等

概要表

建　　築　　物　　☆　　概　　要							
名　　 称				所　　 在　　 地			
用　　 途				階 数 （ 階 層 ）		地上 地下 階 塔屋 階	
主 要 構 造 部		耐火構造・準耐火構造・その他（ ）				延 べ 面 積 m ²	
階 別	床 面 積 （m ² ）	用途又は室名	構 造	内 装 仕 上 げ		特 記 事 項	
				天 井	壁		
そ の 他							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 消防用設備等の設置に係る階について、各階ごとに記入すること。

別記様式 2

屋内消火栓設備・屋外消火栓設備 } の概要表
水噴霧消火設備・泡消火設備

水 源	専用・兼用	種 別	地下ピット・床置き・その他 ()			有効水量 (当該設備用)			m ³			
加圧送水装置	ポンプ方式	ポンプ、電動機	専用・兼用		口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力							
			電圧	V	φ × L/min × m × kw							
	ユニット型	呼 水 装 置	有 ・ 無		有効容量	L	減水警報の表示場所					
		起動用圧力タンク	有 ・ 無		容 量	L	ポンプ設置場所					
	高架水槽方式	有効落差	m		圧力水槽方式	加圧圧力	MPa		内容積	m ³		
屋内消火栓	1号	個	2号	個	易操作性1号			個	合 計	個		
屋外消火栓		個	ホース	長さ	m		本	表示灯	専用 ・ 兼用			
噴霧ヘッド	標準放射量		L/min		標準放射圧力		MPa		放射角度 °			
泡放出口	フォームヘッド		個		フォームウォータースプリンクラーヘッド		個					
	高発泡用泡放出口		個		泡ノズル		個		その他 ()		個	
泡消火設備の方式		固定式 (全域・局所) ・ 移動式			高発泡・低発泡		一斉開放弁		A 個			
泡消火薬 剤	種別	たん白泡・合成界面活性剤・水成膜泡			貯蔵量	L		希釈容量濃度	%			
	混合方式	差圧混合方式・管路混合方式・圧入混合方式・ポンプ混合方式・その他 ()										
放 水 (出・射) 区 域	区域数 区域	最大	放水 (出・射) 面積		m ²		放水 (出・射) 量		L/min		放出体積	m ³
		最小	放水 (出・射) 面積		m ²		放水 (出・射) 量		L/min		放出体積	m ³
起動装置	ポンプ起動方式		自火報発信機・専用スイッチ・起動用水圧開閉装置・流水検知装置・その他									
	起動感知方式		スプリンクラーヘッド ・ 感知器 ・ その他 ()								手動式開放弁	
自 動 警 報 装 置		流水検知装置		A		個		圧力検知装置		個		その他
配 管	立上がり管口径		A		材質			専用・兼用 (設備)				
	止水弁			逆止弁			その他 ()					
ブ ー ス ポ ン ー プ	ポンプ、電動機	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力							補助水槽			
		φ × L/min × m × kw							m ³			
		φ × L/min × m × kw							m ³			
電 源	常用電源	単相 ・ 三相 AC V		電灯回路 ・ 動力回路								
		DC V AH		充電方式	トリクル ・ 浮動		使用別	専用・共用				
	非常電源	自家発電設備		単相 ・ 三相 AC ・ DC V kVA		使用別	専用・共用					
		蓄電池設備		DC V AH		充電方式	トリクル ・ 浮動		使用別	専用・共用		
		非常電源専用受電設備 単相 ・ 三相 AC V										
配 線	常 用 電 源 回 路		露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()									
	非 常 電 源 回 路		耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()									
	警 報 回 路		耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()									
	そ の 他 の 回 路		IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()									
その他												

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式 3

ス プ リ ン ク ラ ー 設 備 の 概 要 表

水 源	専用・兼用	地下ビット・床置き・その他 ()		有効水量 (当該設備用)		m ³		
加 圧 送 水 装 置	ポンプ方式	ポンプ、電動機	専用・兼用	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力				
			電圧	V	φ × L/min × m × kw			
	ユニット型	呼 水 装 置	有 ・ 無	有効容量	L	減水警報の表示場所		
		起動用圧力タンク	有 ・ 無	容 量	L	ポンプ設置場所		
	高架水槽方式	有効落差	m	圧力水槽方式	加圧圧力	MPa	内容積 m ³	
スプリンクラーヘッド等	閉鎖型 (高感度) (温度	℃	個)	・ (温度	℃	個)	減 圧 弁	
	閉鎖型 (標準型) (温度	℃	個)	・ (温度	℃	個)		
	小 区 画 型 (温度	℃	個)	・ (温度	℃	個)	有 ・ 無	
	側 壁 型 (温度	℃	個)	・ (温度	℃	個)		
	開 放 型 ヘ ッ ド	個 ・ 補助散水栓 個						
設 備 の 方 式	湿式・乾式・予作動式		自動警報装置	流水検知装置	A	個	・ 圧力検知装置 個	
ポンプ起動方式	起動用水圧開閉装置・流水検知装置・その他 ()					送水口 (双口型 個)		
起動感知方式	スプリンクラーヘッド・感知器・その他 ()					手動式開放弁		
一 斉 開 放 弁	A		個	電 動 弁 等	A		個	
配 管	立上がり管口径	A		材質	専用・兼用 (設備)			
管 弁 類	止水弁	逆止弁		その他 ()				
放水型ヘッド	固定式 (個) ・ 可動式 (個)		一斉開放弁		A 個			
加 圧 送 水 装 置	放水型ヘッド用ポンプユニット型	ポンプ、電動機	専用・兼用	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力				
			電圧	V	φ × L/min × m × kw			
		呼 水 装 置	有 ・ 無	有効容量	L	減水警報の表示場所		
		起動用圧力タンク	有 ・ 無	容 量	L	ポンプ設置場所		
起 動 感 知 方 式	感知器・走査型の感知器・その他 ()							
配 管	立上がり管口径	A		材質	専用・兼用 (設備)			
管 弁 類	止水弁	逆止弁		その他 ()				
ブー ス タ ンプ	ポンプ、電動機	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力				補助水槽		
		φ × L/min × m × kw				m ³		
		φ × L/min × m × kw				m ³		
補 助 加 圧 装 置	ポンプ、電動機	φ × L/min × m × kw						
		φ × L/min × m × kw						
		φ × L/min × m × kw						
電 源	常用電源	単相 ・ 三相 AC V		電灯回路 ・ 動力回路				
		DC V	AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用	
	非常電源	自家発電設備	単相 ・ 三相 AC ・ DC V	kVA	使用別	専用・共用		
		蓄電池設備	DC V	AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用・共用
	非常電源専用受電設備	単相 ・ 三相 AC V						
配 線	常用電源回路	露出ケーブル、電線管露出、電線管理設、その他 ()						
	非常電源回路	耐火電線、電線管露出、電線管理設、その他 ()						
	警 報 回 路	耐熱電線、電線管露出、電線管理設、その他 ()						
	そ の 他 の 回 路	IV電線、露出ケーブル、電線管露出、電線管理設、その他 ()						
その他								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式 4

不活性ガス消火設備・ハロゲン化物消火設備
粉末消火設備 } の概要表

放出方式	全域放出方式・局所放出方式・移動式				制御盤設置位置				
貯蔵容器等	蓄圧（高圧式・低圧式・その他（ ））・加圧								
起動方式	手動電気式・手動ガス式・自動式								
音響警報	音声・サイレン・音声＋サイレン・ブザー・その他（ ）								
放出表示灯	設置個数	箇所	回転灯等	設置個数	箇所	赤色表示灯	専用	兼用	
消火剤	種別				設置場所				
	容器別数量	kg × 容器本数			本				
		kg × 容器本数			本	＝ 総数量 kg			
加圧用ガス	窒素ガス・二酸化炭素		数量	m ³ ・L・kg		容器本数	本		
配管	管								
	弁類	選択弁・放出弁・減圧弁・閉止弁・その他（ ）							
放出区域	区域数	最大	放出面積	m ²	放出率	kg/s	放出体積	m ³	
	区域	最小	放出面積	m ²	放出率	kg/s	放出体積	m ³	
移動式消火設備の数		箇所							
電源	常用電源	単相・三相		AC	V	電灯回路		動力回路	
		DC		V	AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別	専用・共用
	非常電源	自家発電設備		単相・三相	AC・DC	V	kVA	使用別	専用・共用
		蓄電池設備		DC	V	AH	充電方式	トリクル・浮動	使用別
配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他（ ）							
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他（ ）							
	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他（ ）							
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他（ ）							
	放出区域名	階	面積	体積	換気口	換気装置	排出措置	消火剤量	ヘッド数
1			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個
2			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個
3			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個
4			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個
5			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個
6			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個
7			m ²	m ³	有（閉）・無	有（停）・無	機械・自然	kg	個
その他									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式 5

自動火災報知設備の概要表

(その1)

感 知 器	機 種		蓄積	自動	遠隔	種別	個数
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	式 型 ()						
	型式番号 感 第 号		製 造 会 社 名				
	発 信 機	屋内型	型 級 個	型式番号 発第 号	製造会社名		
屋外型		型 級 個	型式番号 発第 号	製造会社名			
表 示 灯	V 個						
中 継 器	種 別		回 線 数	電 源 供 給 方 式		設 置 台 数	
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	自動・遠隔・アナログ・その他 (型式番号 中第 号)			専用 (予備電源 V AH) ・受信機・その他 ()			
	製 造 会 社 名						

別記様式 5

(その2)

受信機	蓄積式・二信号式・アナログ式・自動試験機能付き・遠隔試験機能付き・その他（ ）										
	P・GP型 級 / 回線 R・GR型 自火報点数 点 その他（ ）点数 点 予備点数 点										
	予備電源 (DC V AH)			設置場所		階 室					
	型式番号 受第 号			製造会社名							
表示器	/ 回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点										
	/ 回線 台 自火報点数 点 その他点数 点 予備点数 点										
電源	常用電源	単相・三相 AC V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路・動力回路									
		DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動) 使用別 (専用・共用 ())									
	非常電源	非常電源専用受電設備 単相・三相 AC V									
		蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動) 使用別 (専用・共用 ())									
音響装置	主音響装置 (内蔵されているものは除く)	ベル・サイレン・電子ブザー・音声合成・その他 ()									
		鐘径 mm	定格DC V mA 個								
		型式番号 (号)		製造会社名							
	地区音響装置	型式番号 (号) 認定番号 (号)		製造会社名							
		ベル・サイレン・電子ブザー・スピーカー・その他 ()									
		鐘径 mm	定格DC V mA 個			dB					
	音声切替装置	型式番号 (号) DC V		製造会社名							
		常用電源	単相 AC V 非常電源専用受電設備回路・電灯回路								
		非常電源	蓄電池設備 DC V AH 充電方式 (トリクル・浮動)								
	配線	常用電源回路	ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他 ()								
非常電源回路		耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()									
警報回路		耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他 ()									
その他回路		IV電線・ケーブル露出・電線管露出・電線管理設・その他 ()									
関連設備	消火設備 ()・火災通報装置・誘導灯信号装置										
	非常警報設備・放送設備・その他 ()										
工事者区分	電源工事										
	配線工事										
	配線工事										
	配線工事										
	機器の取付け工事										
その他											

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
- 3 感知器記入欄の () 内は、その機能又は性能を記入すること。
- 4 関連設備の消火設備 () 内は、その設備等の種類を記入すること。

別記様式 6

消防機関へ通報する火災報知設備の概要表

火 災 通 報 装 置	品 名 ・ 型 式				型式番号			
	製 造 会 社 名							
	設 置 場 所		階 室					
	遠 隔 起 動 装 置	設 置 場 所	電 話 機 付 (台)	(1)	(2)	(3)		
				(4)	(5)	(6)		
			電 話 機 な し (台)	(1)	(2)	(3)		
				(4)	(5)	(6)		
	選 択 信 号 送 出 方 式		DP方式 (10PPS、20PPS) ・ PB方式					
	自 動 火 災 報 知 設 備 連 動		有 ・ 無					
	常 用 電 源		AC		V			
	予 備 電 源		DC		V		AH	
	M型発信機	設 置 場 所		基				
工事者区分	電 源 工 事							
	配 線 工 事							
	機 器 の 取 付 工 事							
	工事担当者 (電話工事)		氏名			資格		
そ の 他								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4 とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。
- 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

別記様式 7

ガス漏れ火災警報設備の概要表

検知器	検知対象ガス	空気より軽い都市ガス	空気より重い都市ガス	その他のもの			
	個数	個	個	個	個		
中継器	回線	専用方法 受信機供給方法 その他の方法	電源	予備電源	V	AH	
受信機	区分	型	回線数	／ 回線			
	附属装置		附属回路				
	予備電源	V	AH	設置場所	階		
電源	常用電源	単相・三相	AC	V	電灯回路	動力回路	
		DC	V	AH	充電方法	トリクル・浮動	使用別 専用・共用
	非常電源	蓄電池設備	DC	V	AH	充電方法	トリクル・浮動
					インバーター出力	VA	
		自家発電設備	単相・三相	AC	V	kVA	
警報装置	音声警報装置	増幅器出力	スピーカー個数	非常用放送設備と兼用			
		定格	W	個	有・無		
	ガス漏れ表示灯	中継器附属のもの		その他のもの			
		個		個			
	検知区域警報装置	検知器附属のもの		その他のもの			
		個		個			
配線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他（ ）					
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他（ ）					
	検知器回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他（ ）					
	警報装置回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他（ ）					
	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他（ ）					
工事者区分	電源及び配線		機器取付				
製造者名	受信機製造会社		型式番号				
	中継器製造会社		型式番号				
	検知器製造会社						
その他							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。

別記様式 8

避難器具の概要表

防 火 対 象 物 の 概 要								
名 称				所 在 地				
用 途				階数 (階層)	地上 階	地下 階	塔屋 階	
主 要 構 造 部	耐火構造・準耐火構造・その他 ()						延べ面積	m ²
避 難 器 具 の 概 要								
階 別	床 面 積	用 途	収容人員	無窓該当	階段の数	減 免 数	設 置 数	避難器具の種別 (個数)
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
								は ()・袋 ()・緩 ()
避難器具の種別								
型 式 番 号		第 ～ 号		第 ～ 号		第 ～ 号		第 ～ 号
設置場所の状況 (用途、構造等)								
開口部の大きさ 縦 × 横 (cm)		×		×		×		×
腰 高 (cm)								
操 作 面 積 (m ²)								
固 定 位 置								
固 定 方 法								
固定部材にかかる 設計荷重 (kN)								
固定部材の許容 応力 (kN)								
その他								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

備考 2 避難器具の種別 (個数) 欄は、「は」は金属製避難はしご、「袋」は救助袋、「緩」は緩降機を表し、避難器具の種別の後の () 内にそれぞれの種別ごとの設置個数を記載すること。

別記様式 9

総 合 操 作 盤 の 概 要 表

品 名 ・ 型 式			
音 響 装 置		☐ ベル ・ ☐ ブザー ・ ☐ 音声警報 ・ その他 ()	
表 示 方 法		☐ CRT ・ ☐ グラフィックパネル ・ ☐ 窓 ・ その他 ()	
製 造 会 社 名			
監視場所 (副監視) (遠隔監視)		階 室	
電 源	常用電源	AC V	
	非常電源	☐ 非常電源専用受電設備・ ☐ 非常電源 (自家発電設備) ・ ☐ 蓄電池設備 DC V AH	
消 防 用 設 備 等	☐ 屋内消火栓設備		☐ スプリンクラー設備
	☐ 泡消火設備		☐ 不活性ガス消火設備
	☐ 粉末消火設備		☐ 屋外消火栓設備
	☐ ガス漏れ火災警報設備		☐ 非常警報設備 (放送設備に限る。)
	☐ 排煙設備		☐ 連結散水設備
	☐ 非常コンセント設備		☐ 無線通信補助設備
	☐		☐
	☐		☐
避 難 設 備 ・ 建 築 設 備 等	☐ 排煙設備		☐ 非常用の照明設備
	☐ 空気調和		☐ 非常用エレベーター
	☐ 防煙区画 (構成機器設備)		☐ 非常錠設備
	☐ ガス緊急遮断弁		☐
	☐		☐
	☐		☐
	☐		☐
工事者区分	電 源 工 事		
	配 線 工 事		
	配 線 工 事		
	機器の取付工事		
	機器の取付工事		
	機器の取付工事		
そ の 他			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項の ☐ 印内をチェックすること。
- 3 工事者区分欄には、設備会社名等を記入すること。

別記様式10

パッケージ型消火設備の概要表

種 別	Ⅰ型× () 台 ・ Ⅱ型× () 台									
認 定 番 号	号		型 式 記 号							
消 火 薬 剤 貯 蔵 容 器 等		加圧・蓄圧 (MPa)		材質			内容積	L × 本		
消 火 薬 剤	種 別			型式番号						
	貯 蔵 量	(1 台当たり) L × 本 = L								
加 圧 用 ガ ス		ガスの種別	窒素・二酸化炭素							
		充 填 量	(1 台当たり) m ³ ・ L ・ kg × 本				充填圧力	MPa		
ホース等	材 質				ノズル切替有無			有 ・ 無		
	寸 法	長さ m (Ⅰ型・Ⅱ型)								
	ホース収納方式	リール収納方式 ・ ホース架収納方式								
設 置 場 所		設 置 階								
		台 数								
電 源	常用電源回路	単相・三相 AC V		電灯回路・動力回路						
		DC V AH	充電方式：トリクル・浮動 使用別：専用・共同							
	非常電源回路	種別 () DC V AH		充電方式：トリクル・浮動 使用別：専用・共同						
配 線	表 示 灯 回 路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()								
	非 常 電 源 回 路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()								
放 射 能	放 射 率	L / min								
	放 射 距 離	m								
	全 量 放 射 時 間	秒								
備 考										

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。

別記様式11

パッケージ型自動消火設備の概要表

認定番号・設置台数		認定型式番号		号× 台	型式記号			
消火薬剤貯蔵容器等		加圧・蓄圧 (MPa)		材 質			内 容 積	L× 本
消 火 薬 剤		種 別				型式番号		
		薬 剤 量	容器別数量	L×容器本数	本	L×容器本数	本	
				L×容器本数	本	L×容器本数	本	
				L×容器本数	本	L×容器本数	本	
				L×容器本数	本	L×容器本数	本	
			L×容器本数	本	=総量	L		
加 圧 用 ガ ス		ガスの種別	窒素・二酸化炭素					
		充 填 量	(1台当たり) m ³ ・L・kg× 本			充 填 圧 力	MPa	
本 体 設 置 状 況		薬剤貯蔵容器等				接 地 端 子		有 ・ 無
感知部	感知器の種別	式 型 ()			型式番号：感第 号× 種 個			
		式 型 ()			型式番号：感第 号× 種 個			
		式 型 ()			型式番号：感第 号× 種 個			
		式 型 ()			型式番号：感第 号× 種 個			
	検 出 方 式							
音 響 装 置		音声・サイレン・音声+サイレン・ブザー・その他 ()				連動有無	有 () 無	
手 動 起 動 方 式								
放 出 導 管		主 管	材質： 呼び方：			分 岐 管	材質：	
		最大長さ m						
放 出 口		材質： 放射量： L/min						
補 助 散 水 栓		屋内消火栓 (1号・2号・易操作1号) × 台				I 型× 台	II 型× 台	
電 源	常用電源回路	単相・三相 AC V 電灯回路・動力回路						
		DC V AH	充電方式：トリクル・浮動			使用別：専用・共同		
配 線	非常電源回路	種別 () DC V AH		充電方式：トリクル・浮動			使用別：専用・共同	
	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()						
配 線	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()						
	警 報 回 路	耐熱電線・電線管露出・電線管埋設・その他 ()						
配 線	その他の回路	IV電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管埋設・その他 ()						
階	階面積	主 な 用 途	同時放射区域	最大同時放射区域面積	放出口数	備 考		
階	m ²		区域	m ²	個			
階	m ²		区域	m ²	個			
階	m ²		区域	m ²	個			
階	m ²		区域	m ²	個			
階	m ²		区域	m ²	個			
階	m ²		区域	m ²	個			
階	m ²		区域	m ²	個			
階	m ²		区域	m ²	個			
合 計			区域		個			
備 考								

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○で囲むこと。